

研究課題名	急性膵炎の前向き多施設観察研究
研究機関名	慶応義塾大学病院を中央施設とし，武蔵野赤十字病院を含めた日本の40前後の施設
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹
研究期間	平成29年1月 ～ 平成39年6月
研究の意義・目的	急性膵炎の頻度は高く、重症化すると死亡率の高い疾患である。これまで日本において膵炎に関する大規模な前向きコホート研究は存在せず、疫学データとしての価値は非常に高い。また、前向き症例登録のシステムを構築することで、今後日本で急性膵炎に対する臨床試験を行う際の、参加対象者としても活用できる。これを機に日本での多施設のデータを集約化が図れれば、国際的な臨床試験への参画も期待される。
研究の方法 (対象期間含む)	当院救命救急科に入院する急性膵炎全症例を対象とする。目標症例数は、過去の入院数から5年で130症例とした。観察研究なので、担当医が診療に必要と判断して集められた情報のみ集積し、死亡率や様々な合併症などに関して解析を行う。多施設前向きコホート研究であり、臨床研究倫理審査委員会承認後に平成29年1月から登録を開始する。経過観察期間を含めると平成39年6月まで行う。
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	プライバシーの保護に関しては、十分に配慮し、データ取り扱いは、ログインとファイル閲覧時にパスワードのかかる院内PC（以下、特定のPCと記載する）のみで行う。データは研究ウェブサイトを通して、患者データは匿名化をされ登録される。ただし、各患者には番号を割り当て、記載する。患者番号と患者名を対応させたデコード表を作成し、特定のPCに保存する。結果公表に際しては、研究の性質上、データのみを記述するため、氏名などの個人情報が明らかになることはない。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525